

学校だより

なかにま

令和6年12月23日
川北町立中島小学校
校長 西田 真由美

元日の能登半島地震から始まり、多くの自然災害に見舞われた今年も終わりに近づいてきました。学校では、1学期同様、2学期も充実した教育活動を実施することができました。運動会、学校公開、持久走大会、人権集会、縦割り大縄大会と多くの活動を通して、子どもたちは、一段とたくましく成長してきています。保護者の方々、地域の方々のご協力と支えのおかげと感謝しております。ありがとうございます。

いよいよ子どもたちが楽しみにしている冬休みを迎えます。2週間あまりの休みですが、クリスマスやお正月など家族で過ごす時間が多い休みでもあります。家族で1年の成長を振り返ったり、新しい年の目標を話し合ったりする良い機会です。是非、お子さんとのコミュニケーションをたくさんとってください。

年末に近づき、インフルエンザやその他の感染症が流行している地域もあります。休み中も元気に過ごせますよう、食事、睡眠、うがい、手洗い等各ご家庭での予防対策を引き続きお願いします。

3学期の始業式には、全員が新たな目標をもって、元気に登校することを願っています。

人権週間の取り組み



「相手に 自分自身にも やさしくね」 6年 上田萌衣
「みんなスマイル 言葉づかいに 気を付けて」 5年 北 歩美

12月2日(月) 1.2年生

1.2年生は、人権についてのお話と読み聞かせを行っていただきました。年生には「ともだち」、2年生には「すきなことがなごこと」を読んでもらいました。真剣に聞いている姿がとてもよかったです。



12月5日(木) 3~6年生 人権集会

聴覚に障害がある加藤さんをお招きして、「聞こえないこと」について教えていただきました。手話通訳者の方を通して、たくさんのご理解することができました。

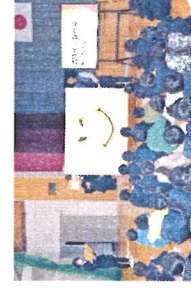


ふり返りより

〇今までの自分は、見えて当たり前、聞こえて当たり前、自由に体を動かして当たり前、と無意識のうちに決めていたけれど、そうではなくて、障害があっても自由な人もつらいだけではないと、楽しいことや嬉しいこともたくさんあるのだと改めて思いました。

〇目や足が悪い人は見えて分かる障害だけど、耳が悪い人は見えて分かりづらい障害だと思います。「耳が聞こえないから手話ができる」など、どの障害の人に対しても、障害がない人でも「〇〇だから」ということを押しつけない方がよいと思います。障害がある人のことを考えると、学校や職業などは、まだまだ平等ではないと感じました。

児童会の取組 ～スマイル収穫祭～



児童会の人権週間の取組として「スマイル収穫祭」が提案されました。体だけでなく、心もスマイルになるよう友達の

あきらめずに頑張っているところや思いやりのある行動についてカードに記入し、掲示していきます。白い台紙がどんどん大きくなってきました。



縦割り大縄大会 12月13日(金)

1日延期して行った「大縄大会」。大会に近づくにつれ、気合いが入り安定して回数を跳ぶことができました。当日は、5年生のリーダーのかけ声や進行により、チームの結束が高まるいい大会になりました。

